



平成27年度 中央区地域活性化事業交付金 交付決定事業 【上溝地区】

平成28年3月31日現在

団体名	事業等の名称	事業の概要			交付決定年月日	事業予算(単位:円)		
		事業の背景	事業の目的	事業の内容		全体額	申請額	交付金額
1 上溝地区安全安心まちづくり事業実行委員会	上溝地区交通安全啓発事業	上溝地区では、交通安全、特に通学のために上溝駅周辺や横山公園から坂を下りてくる高校生の自転車運転マナーが悪いことが以前より問題となっている。平成25年度のまちづくり会議でも地区の課題として話し合いを行い、継続的な啓発活動を行っていくこととなった。また、平成26年度のまちづくり会議でも地区内の課題として話し合いを行い、平成26年11月に開催された上溝地区まちづくり懇談会でもテーマのひとつとして取り上げられ、市と懇談を行った。 昨年度は、上溝南高校と協力し、主に高校生を対象として事業を実施したが、一般住民を対象にとの意見があったことから、今年度については、一般住民を対象に事業を実施する。	地区の住民が啓発事業を通じて、交通安全意識の高揚を図り、地域内における交通マナーの向上、交通事故を減らすことを目的とする。	地区の住民を対象に自転車に関係する交通事故を再現したスケアード・ストレイト事業を実施し、地区住民の自転車運転マナーの向上と交通安全意識の高揚を図る。	5月26日	470,000	470,000	470,000
2 上溝さくら公園「はるか桜」植樹祭実行委員会	上溝さくら公園「はるか桜」植樹祭事業	・本年3月に、旧食肉公社跡地に地区の希望であった上溝さくら公園が開設された。この公園には地区と市で調整し、四季を通して楽しめる約7種類の桜が植樹されるなど、自然環境を意識してつくられている。 ・上溝地区においても、他の地域と同様、人と人との連帯意識や支え合いの意識が希薄となっていること等に起因する自治会や子ども会への加入率の低下が問題となっており、人と人とのつながりや世代間の交流といったことが求められている。 ・上溝さくら公園に、国立研究開発法人森林総合研究所が開発し、東日本大震災や原子力発電所事故などで大きな被害を受けた福島県の復興を応援する運動に基づく新しい八重桜が植樹されることになった。	・上溝地区に新たに開園した上溝さくら公園で、震災からの復興を応援する桜の植樹祭を、「心のふれあい」「共助」「支え合い」をテーマに実施する。 ・地区に新たに開園した上溝さくら公園を地区のコミュニティの場として活用する。 ・震災からの復興を応援する貴重な新しい八重桜の品種の植樹祭を、地域住民が参加、実施することで、上溝地区の「心のふれあい」「共助」「支え合い」といった意識の高揚を図る。 ・自然環境を大切にすることを幼児や青少年の情操教育に寄与する。 ・事業を通じていろいろな団体・個人が交流を深めることにより、地域の活性化に寄与する。 ・幅広い世代へ受け入れられるイベントを実施することにより、地域住民の自治会活動への理解を深め、加入率の向上を図る。	上溝地区に新たに開園した上溝さくら公園に、この度、新しい八重桜の貴重な品種が植樹されることになった。 この桜の植樹は、国立研究開発法人森林総合研究所が開発し、東日本大震災や原子力発電所事故などで大きな被害を受けた福島県の復興を、はるかかなたの未来にまで広がって欲しいという想いを込めて応援する運動に基づくものである。 この桜の植樹祭を高年齢から幼児までといった幅広い年代層の地域住民の参加により実施し、上溝地区の「心のふれあい、共助、支え合い」といった意識の高揚を図る。	5月21日	179,000	150,000	150,000
3 上溝夏祭りフェイスペイント事業実行委員会	上溝夏祭りフェイスペイント事業	郷土に古くから伝わる神輿や山車を公開し、まつりばやしなどの郷土の芸能を披露する上溝夏祭りであるが、子ども達が楽しめるイベントがあまりない。また、自治会や子ども会の加入率が低下しているなど神輿の担ぎ手や山車などの担い手も少なくなっている。このことから、上溝夏祭りを良いたちで次世代に繋げるため、子ども達にも楽しめるイベントが必要ではないかという意見が地域にはあった。このことを受けて、昨年上溝在住の東京造形大学の美術家の先生方に協力をいただき、上溝夏祭りの期間に子ども達のためのフェイスペイント事業を実施し、短い時間であったが多くの子ども達が参加し好評であった。このため今年度は、美術家の先生方だけでなく、イベントスタッフに地域住民や地域の学生等も加え、地域住民間の交流を図り、地域の活性化に貢献するとともに、未来を担う子ども達に、ペイントや美術表現を通じて豊かな人間味や想像力の向上に資し、地域やふるさとの愛着心を育てていきたい。	・上溝夏祭りの期間に、次代を担う子ども達が楽しめるイベントを実施することで、子ども達の地域に対する愛着心や郷土愛を深める。 ・地域の子供達が、プロの美術家の指導や表現にふれることで、子ども達の豊かな人間味や想像力の向上に資する。 ・イベントの運営に地域住民や地域の学生等を加え、地域住民間の交流を図り、地域の活性化に貢献する。 ・イベントの開催に自治会や子ども会が貢献・協力していることをPRし、自治会・子ども会の加入促進を図る。	・イベントには、地域在住の美術大学の先生に指導をお願いする。 ・イベントスタッフに地域住民や地域の学生等を加える。 ・イベントの開催に自治会や子ども会が貢献・協力していることをPRする。 ・ペイントした様子を写真に収め、パネル化し、公民館まつり等で掲示し、地域活動等をPRする。	5月25日	190,000	190,000	190,000

団体名	事業等の名称	事業の概要			交付決定 年月日	事業予算(単位:円)		
		事業の背景	事業の目的	事業の内容		全体額	申請額	交付金額
4 上溝本久・コスモスセンターふれあいまつり実行委員会	上溝本久・コスモスセンターふれあいまつり事業	<p>1. 住民が主体となり上溝地区を創りあげていく意識の希薄化傾向</p> <p>2. 転入者の地元への関心が低く、自治会加入が低迷</p> <p>3. 高齢化が進む上溝地区にとって、上溝高齢者支援センターと同じ運営法人の高齢者福祉施設との連携強化は喫緊の課題</p>	<p>・まつりの広報を通して転入者の自治会への関心を高め、加入促進を図るとともに、まつりへの参加を促すことで会員の自治会意識を高め、上溝地区の地域活動を活性化させる気運を高める。</p> <p>・上溝高齢者支援センターと同じ運営法人の高齢者福祉施設と上溝地区住民との連携やコミュニケーションを深める機会とする。</p>	<p>ふれあいまつりを上溝地区にある高齢者福祉施設と協力・協働で実施することで、事業内容をより充実し実施する。</p> <p>芸能発表、模擬店、作品展示等で親睦を深める。</p> <p>上溝地区にある高齢者福祉施設との共同行動を通して、自治会員の地域福祉意識の向上の一助とする。具体的には高齢者福祉施設の職員、高齢者福祉施設内の居住者(一部は老人会の加入)との交流を通して双方の機能、活動内容の理解を深める契機とする。</p> <p>福祉施設側にも実行委員の選出、出演、出品、出店を求め、福祉事業の紹介コーナーを設けること等により、上溝地区にある福祉施設と地区住民の繋がりやコミュニケーションを深める。</p>	8月26日	170,000	170,000	170,000
5 上溝地区自治会加入促進パンフレット作成委員会	上溝地区自治会加入促進パンフレット作成事業	<p>上溝地区では、各自治会が、ごみ集積場の管理、防災活動、交通安全・防犯活動、高齢者などへの支援、地域清掃、地区住民間の交流事業など、住民が安全安心に仲良く暮らせるよう、様々な活動を実施している。</p> <p>しかしながら、核家族化やライフスタイルの変化等により、住民が主体となり上溝地区を創りあげていく意識が希薄化し、地域活動への関心が低くなったこと等から、各自治会の加入率が年々低下してきており、このことから、地域活動の担い手不足や会員の高齢化が大きな問題となっている。</p>	<p>地域コミュニティの基盤である自治会の加入促進を図り、住民同士が仲良く暮らしていけるより良い地域づくりを目指す。</p>	<p>自治会の活動内容を紹介した加入促進のためのパンフレットを作成し、上溝地区の各自治会に配布し、未加入者や転入者等への自治会の新規加入促進の説明資料として活用する。</p> <p>また、地区内でのイベントの際などに自治会の活動をPRするとともに、加入促進・退会防止の資料として活用する。</p> <p>作成予定部数:1万部</p>	12月7日	380,000	380,000	380,000
6 エンジョイ上溝実行委員会	(仮称)上溝まちづくり展実施事業	<p>上溝地区では、様々な団体等により、まちづくりや地区の活性化に関する多くの活動が行なわれている。しかしながら、これらの活動が必ずしも地区内の人々に十分に認知されているわけではない。</p> <p>また、こうした活動についての理解が不十分であることが、地域貢献活動の担い手不足の原因のひとつとなっていると考えられる。</p>	<p>上溝地区では、まちづくりに関する様々な活動が行われている。平成24年3月に上溝地区のまちづくり活動に関するパネル等の展示を行う「まちづくり展」を開催し、地区内の方々に上溝地区内のまちづくり活動を周知するとともに、それぞれが上溝のまちづくりについて考え、行動する素材を提供した。</p> <p>今回再び「まちづくり展」を実施し、まちづくりに関する様々な活動を周知することで、新たに上溝への思いを共有し、より多くの人々とともにより良い上溝のまちづくりを進めるよう取り組むものである。</p>	<p>上溝地区でまちづくり活動を行っている団体の活動や地域活性化事業交付金を活用した事業等について、パネル展示や動画放映をすることによりに地区内の方々に周知し、地区への思いを共有し、それぞれがより良い上溝にするためのまちづくりについて考え、行動する素材を提供する。</p> <p>また、平成22年度に児童から大人まで多くの地区住民が関与し制作した上溝のシンボルマークを活用したグッズを作成し、地区内の様々なシーンで活用することにより、地区の一体感の醸成やまちづくり事業への関心を高め、地域活動への参加を促す。</p> <p>実施予定日 平成28年2月11日(木・休日)～2月13日(土)</p> <p>実施予定場所 上溝まちづくりセンター会議室</p>	12月11日	991,000	991,000	991,000
						2,380,000	2,351,000	2,351,000